

拠出金名: 国際下痢性疾病研究センター拠出金

国際機関等名	国際下痢性疾病研究センター (英文名称・略称) International Centre for Diarrhoeal Disease Research, Bangladesh (ICDDR, B)									
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	(その他)				
所轄官庁担当課名	外務省国際協力局多国間協力課									
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率										
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)				
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト						
平成17年度	0	0			(2005年) 0	0				
平成16年度	0	0			(2004年) 0	0				
平成15年度	0	0			(2003年) 0	0				
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)						
	国 名	(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 18.4百万ドル						
1位	英国(DFID)	2,568	14.6	当該年度の支出 18.2百万ドル						
2位	米国(USAID)	2,158	9.5	次年度への繰越 0.2百万ドル						
3位	オランダ	1,533	8.7	会計検査機関名						
4位	カナダ(CIDA)	1,479	8.4	Hoda Vasi Chowdhury & CO, KPMG (バングラデシュ)						
5位	ゲーツ財団	1,295	7.4	(現在の構成員の出身国:)						
上記の率及び順位は2004年のもの										
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)										
本センターによる下痢治療は幼児死亡率の減少、ひいては多産化傾向の抑制につながっており、人口大国をかかえる南及び東南アジアの人口問題の解決に資する。 合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価										
<table border="1" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:25%;">邦人職員数 うち幹部以上</td> <td style="width:25%;">2人 うち 1人 (2005年現在)</td> <td style="width:25%;">当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる率</td> <td style="width:25%;">18人 11.1% (2005年現在)</td> </tr> </table>							邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 1人 (2005年現在)	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる率	18人 11.1% (2005年現在)
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 1人 (2005年現在)	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる率	18人 11.1% (2005年現在)							
邦人職員が占めている幹部ポスト										
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考						
理事(2005年現在)		石川信克		(財)結核予防会結核研究所副所長						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画										
未定										

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。